

報道機関各位



令和5年10月31日
北九州国際映画祭実行委員会事務局
北九州市市民文化スポーツ局

「北九州国際映画祭」 【特別企画】みうらじゅん氏セレクション松本清張作品上映会 上映日、上映会場、上映作品及び、 みうらじゅん氏スペシャル動画の詳細が決定！

本年7月27日に別紙により記者発表を行った上記企画について、上映日、上映会場、上映作品及び、みうらじゅん氏スペシャル動画の詳細が決定いたしましたのでお知らせいたします。

1 上映日及び上映会場

(1) 上映日

令和5年12月15日（金） ※ 上映時間は別途お知らせいたします。

(2) 上映会場

J:COM北九州芸術劇場・小劇場

2 上映作品

(1) 『ゼロの焦点』

松本清張のベストセラーを、橋本忍と山田洋次が脚色。野村芳太郎監督で、北陸を舞台に人間の孤独と悲しさをスリリングに描いた傑作。広告社に勤める憲一は、新婚7日目に金沢へ出張、そのまま消息を絶った。

妻の禎子は金沢へ出掛け、単身捜査に乗り出すが、手がかりはつかめなかった。やがて憲一が広告社に勤める前に、巡査の風紀係だったことが判明し、事件はそれに絡んでいる模様。そして意外な事実が明るみになってくる。



『ゼロの焦点』©1961 松竹株式会社

原作：松本清張 監督：野村芳太郎 脚色：橋本忍 脚色：山田洋次
撮影：川又昂 音楽：芥川也寸志
95分 日本 1961年

(2) 『影の車』

妻のいる真面目なサラリーマンが、ある日同郷の女性と偶然再会する。夫に死なれ、一人息子と暮らしているという美貌の女性に男は魅かれ、やがて男女関係へと発展する。だが男は、彼女の6歳になる息子が自分に殺意を抱くという妄想に取り憑かれてしまう…。

松本清張の短編小説「潜在光景」を野村芳太郎監督が映画化。旅行代理店勤務のサラリーマンにいかにも真面目な風貌の加藤剛、美貌の未亡人に岩下志麻という顔合わせで、道ならぬ愛に落ちる男女の姿を、ハードなラブシーンをも交えて、リアルに描いている。



『影の車』©1970 松竹株式会

原作：松本清張 監督：野村芳太郎 脚本：橋本忍 撮影：川又昂
音楽：芥川也寸志 97分 日本 1970年

(3) 『鬼畜』

松本清張が知り合いの検事から聞いた事実を元に書き下ろしたという短編を、野村芳太郎監督が映画化。大人のエゴで歪められた子供たちの世界と弱い大人の世界を対比しながら、切っても切れない親子の絆を描いた異色のドラマ。



『鬼畜』©1978 松竹株式会社

原作：松本清張 監督：野村芳太郎
脚本：井手雅人 撮影：川又昂
音楽：芥川也寸志 110分 日本 1978年

3 みうらじゅん氏スペシャル動画の詳細

松本清張ファンとして知られ、『清張地獄八景』（文春文庫）の編者でもあるみうらじゅん氏が、各上映作品及び松本清張氏の魅力について、みうら氏ならではの視点で詳しく解説するスペシャル動画（上映作品ごと。スペシャル動画・計3作品）を、併せて上映いたします。

北九州国際映画祭でしか観られない、みうらじゅん氏、松本清張氏ファンは特に、絶対に見逃せない貴重な作品です。

※ その他、全作品、松本清張記念館担当者による、原作の小説の解説等も行います。

(お問い合わせ先)
北九州国際映画祭実行委員会事務局
市民文化スポーツ局文化企画課
担当：村田、堀池 電話：093-582-2389